

ムーディーズ、エジプトを格上げ

格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービスは7日、エジプトの国債格付けを「Caa1」から「B3」に格上げし、見通しを「安定的」で再確認した。また、外貨建て債券格付けシーリングを「B3」から「B2」へ、外貨建て預金格付けシーリングを「Caa2」から「Caa1」へ、自国通貨建てカントリーリスク・シーリングを「Ba3」から「Ba2」へ引き上げた。一方、短期外貨建て債券及び預金のカントリー・シーリングは NP(ノット・プライム)、エジプトの米国政府保証付きシニア無担保債格付けは「Aaa」で据え置いた。

主な格上げ理由は、マクロ経済パフォーマンスの改善、対外的な脆弱性の軽減、財政及び経済改革への継続したコミットメントの3点である。

1. マクロ経済パフォーマンスの改善

最近大幅に改善しているエジプトの成長パフォーマンスとマクロ経済の安定性が、今後も継続すると予想されることが、格上げの第一の理由である。エジプトの14/15年度(2014年7月～2015年6月)の実質GDP成長率は4.5%に上り、向こう4年間では5-6%まで加速すると予想している。これは安定した国内情勢に加え、ビジネス環境が継続的に改善するとの予想に基づいており、この2点は今後投資の増加に大きく寄与すると見られる。

2. 対外的な脆弱性の軽減

2月末時点での純外貨準備高は155億米ドルとなり、今年の対外債務返済をカバーするには十分な水準となった。外貨準備高の増加は、2013年7月以来、クウェート、サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)がエジプト中央銀行への外貨預金による財政支援を継続して行ってきたことによる。ムーディーズは、今後国内及び海外からの投資が増加すると予想しており、これは3月13～15日にシャルム・エル・シェイクで開催されたエジプト経済開発会議(EEDC)の成功によって更に確実なものとなった。経済サミット中に湾岸協力会議(GCC)諸国は総額125億米ドルの公的支援及び投資を誓約し、最終的に契約された投資案件の総額は380億米ドルに上った。これにより、エジプトの対外的脆弱性と国際収支バランス・リスクの軽減が予想される。

3. 財政及び経済改革への継続したコミットメント

最後に、ムーディーズはエジプト政府が財政及び経済改革を今後も継続して実施すると予想している。補助金政策の見直しや公務員給与の削減などの支出サイドの改革に加え、歳入サイドでも来年度中の付加価値税(VAT)導入などにより、段階的な財政赤字の削減が実現すると見られる。14/15年度の財政赤字GDP比は10%、15/16年度までには9.3%まで低下し、政府債務は2015～2016年の間にGDP比90%以下まで減少する見通しである。更に、インフレ率低下や償還延長策に加え、政府はドル建て債券発行やイスラム債券(スーク)市場進出などによる借入先の多様化を図っていることから、借入コストは更に低下すると見られる。

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。
■当資料は投資家の皆様に MENA 市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、勧誘、販売を目的としたものではありません。■当資料は本来の受信者の社内用途のためだけに提供されています。本資料のいかなる部分も、弊社の事前の書面による同意を得ることなく、その内容の全部または一部を許可なく使用、発信、配布または複製することを固く禁じます。 © 2015 Concord International Investments. All rights reserved.